

子どもたちの学びを広げる・深める 市職員の方々との連携

子どもたちの学習に際して、専門的な知識を有する方、また学習の魅力を伝えて下さる方々に適切な学習場面で、協力いただくことが子どもたちの学びを広げたり深めたりすることにつながっています。

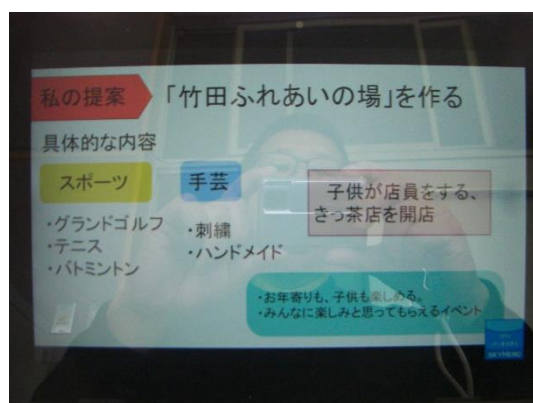
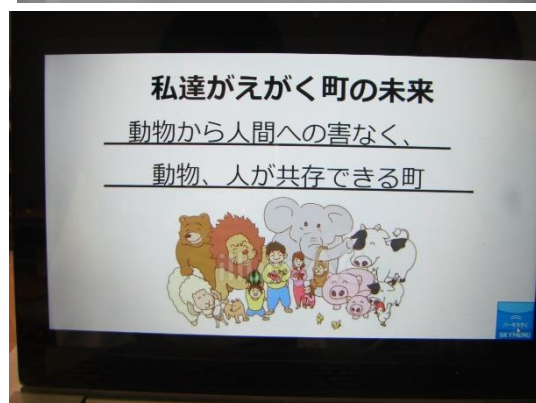
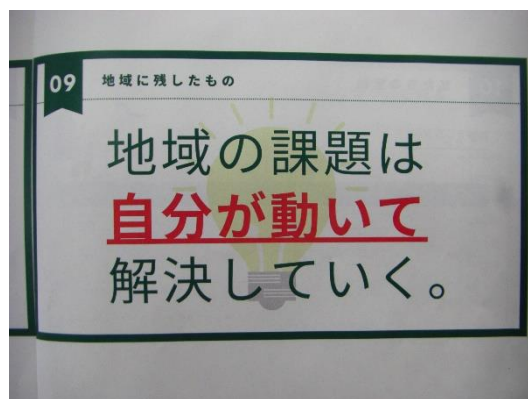


4年生の防災の学習では市のくらしの安全課の方にお越しいただき、水害時の地域の中で危険な場所や避難の際は垂直避難することなど貴重な資料を基に子どもたちに考えさせて頂きました。また竹田地域をドローンで見ることで、平面地図で見た地形図と実際を照合させ、危険な場所を確認するなど「命を守る教育」を先生と一緒に取り組んで下さいました。



6年生の国語「まちの幸福論」では、市職員の方に丹波市の今と将来について問題提起頂き、それをきっかけに丹波市・竹田の町づくりについて考えていきました。子どもたちは、自分たちの考える丹波市・竹田の町の幸福論について発表する際も、見に来てほしいと伝えたようで、発表会にも参加いただき、それぞれグループの取組に際し





いただいたことに、また市職員・町に住む一人の大人として、子どもたちに

てもコメントを頂きました。市職員の方の「地域の課題は自分が動いて解決していく」という想いと子どもたちの考える町の幸福論は、学習者と支援者、子どもと大人という立場の違いはあれど願いは同じです。わたしたちの町には町の未来を真剣に考えている大人いて、そうした大人の方に出会うことが子どもたちにとっては本当に貴重な経験なると考えています。

今日は、恐竜課ちーたん化石工房の学芸員の方にお越しいただき、「私が考える丹波竜と丹波竜が生きた時代」と題して、丹波竜の骨のレプリカなどを持参いただき、お話しいただきました。竹田小では6年生2名が『丹波市子ども恐竜大使』として、10月に福井県勝山市を訪問したところです。2名だけでなく6年生全員が興味深く話を聞いていました。

お忙しい中、ご協力





学習の魅力や学びの意味を伝えていただいたことに感謝します。ありがとうございました。

こうした取組が子どもたちにとって『自分のみらいを創る一助になれば』と願っています。